

藤木大地

ギターと紡ぐ、素晴らしい愛(うた)の世界

Daichi Fujiki Special Interview

近年活躍めざましい日本が誇るカウンターテナーと、クラシックギターの第一人者(※岐阜市の出身でもある)荘村清志が揃ってサラマンカホールに登場。懐かしの“にほんのうた”をお届けするプレミアムなりサイト。

—— デビュー当時から沢山のスター・ギタリストと共演されてきました。ピアノと違って殆どが編曲ものになるのですが、声との相性は抜群。自分のすぐそばで音が生まれる、あの親密なかんじと阿吽の呼吸が魅力ですね。学ぶことも大きくて、相手の演奏にしっかりと耳を傾ける考え方などはオーケストラのような大きい編成との共演にも応用できていると思います。それにギタリストによってレパートリーを変え、敢えて被らないように意識してきたので、いろんな方とご一緒できるのが凄



©hiromasa

く楽しみなのです。

—— 荘村さんとの最初の共演はいつですか？

福田進一さんと荘村さんという2大巨匠がプロデュースする「Hakuju ギター・フェスタ」の武満徹をテーマにした回(2016年8月)に呼んでいただいたのが最初です。

—— その後も荘村さんとは沢山共演を重ねられていますね。5月のサラマンカホール公演は「東京・春・音楽祭2021」で初披露されて大好評だったプログラム“にほんの歌を集めて”が元になっているとか。

当時春祭のプロデューサーから「ギターとでお願いします」と提案された時に、いわゆる“懐メロ”と呼ばれる自分にとってはリアルタイムで聴いたことがないけれど日本人に親しまれている名曲たちを、その時代を知っている演奏者の胸を借りて歌うことができれば、幅広い世代に喜んでいただけるのではないかと…30歳以上もはなれている荘村さんはその“究極の”パートナーかもしれないと思ったのです。その後、多治見市でも同様のプログラムで演奏しましたが、やはり荘村さんの出身地である岐阜市でやらねばと願い続けてきた待望の公演です。なお、あれから時間も経過しているので曲目については改めて吟味して、少し変えてあります。

—— もちろん武満徹の曲もたっぷり聴けますね。

ご本人とも親しかった荘村さんと一緒に「武満ソングス」を歌えるのは、どこか“答え合わせ”をしているようで貴重な体験です。できることなら全曲集にも挑戦してみたいところですが、ジャンルもスタイルも多岐にわたっていて難しい。でも今回も、ジャズ・ヴォーカリストによって初演された(うたうだけ)やブルージーな(昨日のしみ)から、ポップス寄りの(めぐり逢い)や谷川俊太郎の歌詞がユーモラスな(ぼつねん)まで、いろいろと取り揃えていますのでご期待ください。

—— そういえば、サラマンカホールのステージに立つのは初めてでしょうか？

これまで沢山の方から「響きが素晴らしい」と評判を聞いているのでやっと実現できて嬉しい！以前共演して対談したヴァイオリニストの辻彩奈さんも地元で、壁には彼女が毎年演奏する度に書いたサインが残されていると聞きましたので、ぜひ現地でそれをこの目で確かめたいと思っています！

©Interview&Text/東端哲也

5/25 SUNDAY [チケット発売中]

「藤木大地×荘村清志

あの素晴らしい愛(うた)をもう一度」

■会場/サラマンカホール ■開演/14:00

■料金(税込)/全席指定 S¥4,000 A¥2,000 学生半額(30歳まで)

■お問合せ/サラマンカホール・チケットセンター TEL.058-277-1110

フリーペーパー MEG VOL.84 2025 March より

サラマンカホール

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター

058-277-1110

9:00~21:30

チケットのネット予約は公式サイト「サラマンカ・オンラインチケット」で



岐阜県岐阜市藪田南5-14-53

★サラマンカメイト会員募集中! チケット1割引、先行販売等の特典があります。(年会費 2,000円)

サラマンカホール

検索

